

みえ災害ボランティア支援センターから

配車班の方へ 「交通事故防止」のための安全運転のお願い

ボランティア活動中の事故において最も懸念されるもののひとつが交通事故です。

被災地におけるボランティアの交通事故は、ともすれば人命にもかかわるものであり、当事者のみならず関係者に大きな災禍をもたらすと共に、ボランティア活動の継続を危うくする危険さもあります。

ボランティアが交通事故を起こして被災地に迷惑をかけることは、まさに本末転倒であり、継続的に被災地支援を行う上で絶対に避けなければならないものと考えています。

これまでの活動においていくつかの課題が明らかになりましたので、以下の注意事項を徹底していただきますようお願いいたします。

交通事故防止のための三つのお願い

- ・体調が万全でないときや気分がすぐれないときは運転業務を行わない
バス到着初日など睡眠不足や疲労が残っている状態で運転しないこと。
(これまでに3回、活動初日に接触事故がありました)
- ・定員オーバーでの運行を絶対に行わない
定員以上乗った場合は必ず下車させ別の車両を用意する。
(ハイエース10人・9人乗り、キャラバン8人乗り、ハイゼット4人乗り)
- ・制限速度を守り安全確認を必ず行うなど慎重な運転を心がける
がれきの間や仮復旧された道路の段差など危険な箇所
に注意すること。
(活動当初から釘などによるパンクが多発しています)

配車係マニュアル

山田町で運転していただくにあたっての注意事項です。
配車担当になられた方は、しっかり読んで安全運転をお願いします。

<引継ぎ>

- ・到着日の午後の活動終了後、みえのスタッフが配車係に町内を案内する。

<出発時>

- ・作業道具を搬入しやすいように駐車する。

<運転中>

- ・側溝にはふたが無い、又はあっても途中で無くなっていることがあるので幅寄せ・右折・左折時に脱輪に注意すること。
- ・B & G 体育館までの登り坂は、所々に穴が空くなど道が悪いため徐行をするなどして走行に注意すること。

<駐車>

- ・作業現場で駐車する際、広い場所に駐車すること。
- ・坂、溝、段差なども多くあるので注意すること。

<給油>

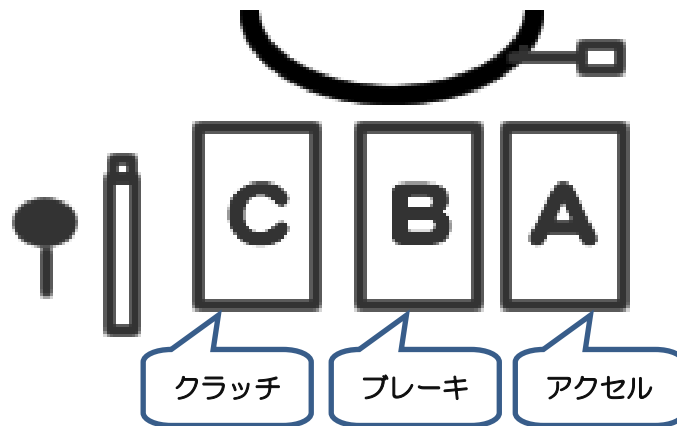
- ・ガソリンが減ってきたら、会計係に指示を仰ぐこと。
 - ★ ハイゼット（軽自動車） … ガソリン
 - ★ キャラバン … 軽油（ディーゼル）

<その他>

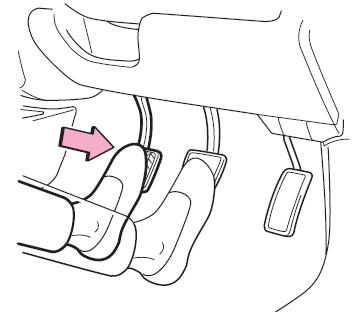
- ・**運転日誌の記入**→記入漏れが無いようにすること。
（月・日、時間、走行前キロメートル、走行後キロメートル、走行メートル、用件、行先、給油量）
- ・忘れ物がないか確認すること。
- ・**運転は18時半まで**。（18時半までにボラセンに戻ってきてください）
- ・**キャラバンのキーを17時以降にボラセンから借りる場合、次の日の朝に必ずボラセンに返すこと**。

【マニュアル車のエンジンの掛け方】

ABCで覚えよう！ アクセル・ブレーキ右足 クラッチ左足



- クラッチを踏み続ける（ブレーキも踏んどきましょう）
- ※クラッチペダルをいっぱいまで踏み込まないとエンジンがかかりません



- ハンドブレーキ上がっているか確認
- ギアがニュートラルか確認
- エンジンキーを回す
- ギアをローに入れる
- ハンドブレーキを下げる（ボタン押すのを忘れずに）
- 安全確認 後方向指示器を出す
- アクセルを少し踏む（軽く）
- クラッチをゆっくり戻す（半クラッチ）

これで車はゆっくり動き出します！